

日本共産党区議会議員

Japanese Communist Party

安藤たい作

区政報告 ニュース 第28号

「全国青年大集会2007」に参加

「まともに生活できる仕事を！人間らしく働きたい！」の声あげる



あまりテレビは観ない方ですが、この前たまたま朝から情報番組を2時間程ぶつつけて観ていたら、殺人事件報道のオンパレード。あらためて「何と異常な社会なのだろう」と思いました。彼らを凶行に走らせた背景にある政治や社会に問題はなかったのでしょうか。

↓私がアピールウォークに持参したボードです



漫画：安藤たい作

「更新料が払えなくなり、アパートを出た。始めは軽い気持ちだった。落ちるのは簡単、這い上がるのは難しい」と発言した青年は、もう2年もネットカフェ暮らしを続けていました。まともな賃金がもらえない非正規雇用ばかりの青年にとって、もはや毎月定期的に出ていく家賃すら払えないというのが現状です。品川では青年が立ち上がり家賃補助制度を求める署名に取り組み始めました。皆様のご協力をお願いします。

品川の青年も声をあげはじめ

「更更新料が払えなくなり、アパートを出た。始めは軽い気持ちだった。落ちるのは簡単、這い上がるのは難しい」と発言した青年は、もう2年もネットカフェ暮らしを続けていました。まともな賃金がもらえない非正規雇用ばかりの青年にとって、もはや毎月定期的に出ていく家賃すら払えないというのが現状です。品川では青年が立ち上がり家賃補助制度を求める署名に取り組み始めました。皆様のご協力をお願いします。

「貧困と格差」が叫ばれ、若者の間では「ネットカフェ難民」と呼ばれる新しいホームレスの形も見られるまでに深刻化しています。そんな中、5月20日に明治公園で開かれた「まともに生活できる仕事を！人間らしく働きたい！全国青年大集会2007」に参加してまいりました。

「安倍首相もハケンをやってみろ」

集会には全国から3300人が参加。出店やテントも出て、広い公園は賑やかに埋まりました。未払い残業代を支払わせるべくたたかう大手牛丼チェーン店で働くアルバイト店員、偽装請負を告発し直接雇用を勝ちとりながらもその後の不当解雇の撤回を求めて裁判をたたかう青年、自治体に正規雇用の促進条例を作らせた京都の民主青年同盟員などが発言。なかには30人がコスト削減の名目で一方的に解雇される中立ち上がったライブドアユニオンや、財政破たんでも多くの青年が職を失った夕張市で署名運動をする青年など、話題の企業・自治体からの告発もありました。「声を上げ実態を告発すれば違法行為は必ずただせる」とたたかひの経験を交流し励ましました。

集会後には表参道から渋谷へ抜けるいわゆるデモ行進に出発。「安倍首相も派遣をやってみろ」「若者は企業の道具じゃない」「労働組合に入りましょう」等、等身大の言葉でのシュプレヒコールをあげ、社会と、沿道にごったがえす青年にもおいにアピールできたと思います。

安藤たい作プロフィール '74年 宮城県仙台市生まれ33歳。'97年 国立宮城教育大卒。'98年 漫画家を志し上京、漫画家アシスタント。'02年 青年誌奨励賞受賞。大崎駅西口駐輪場改善運動に取り組む。4年の派遣労働経験を経て、'06年の品川区議会議員補欠選挙で初当選。趣味/漫画・イラストを描くこと、キャッチボール。大崎在住。

安藤たい作ニュース は、「品川区議会における政務調査費の交付に関する規定」で定める用途基準「広報・活動費」に基づき、政務調査費によって発行されています。